

アンスティチュ・フランセが、フランスの映画メディア（新聞、雑誌、テレビ局、ウェブ媒体…）、批評家、専門家、プログラマーと協力し、最新のフランス映画を選び、紹介する特集「映画/批評月間〜フランス映画の現在をめぐって〜」。Vol.01では、フランス日刊紙「リベラシオン」の映画批評家、同紙の文化欄チームエディターのジュリアン・ジェステールとともにセレクションに果敢に挑んでいるフランス映画の現在が見える作品が上映され、映画史の中でこれまで紹介される機会がなかった、フランス映画の秘宝を発見する枠では、近年、シネマテーク・フランセーズなどで特集が組まれ、再評価の機運が高まっている知られざる映画作家ギイ・ジルの特集が行われました。「巡回企画：映画/批評月間/フランス映画の現在vol.01」では、アンスティチュ・フランセ東京で上映された作品から、2019年11月に惜しまれながら亡くなった映画批評家ジャン・ドゥーシェ氏についてのドキュメンタリー映画を含む11本を厳選して、全国に巡回します。

BEST OF 2018/2019

果敢な女性監督たち



2018年/101分/カラー/デジタル/フランス語  
監督:パトリシア・マズ  
出演:ローラン・ラフィット、ジタ・オンロ、フィリップ・ジャール  
2/14金15:00-  
2/20土17:05-

**ポール・サンチェスが戻ってきた!**  
Paul Sanchez est revenu!  
10年前に失踪した凶悪犯罪者・ポール・サンチェスが、プロヴァンス地方のレ・ザルクで目撃されたという噂が広まる。警察署では誰もそのことを本気にしなかったが、若い警官のマリオンは違った…。



2018年/95分/カラー/デジタル/フランス語  
監督:リブアール・フリエール  
出演:サド・ドリス、キベル・ラン、アガット・ボニゼール、メルティル・ポボー  
2/21金12:25-  
2/23日12:45-

**20年後の私も美しい**  
La Belle et la Belle  
大学生のマルゴは、恋愛や将来について進むべき道が見えず、行きに身を任せて日々を生きている。そんな時40代半ばの女性マルゴと知り合い、自分達がひとつの人生の異なる年齢を生きている人間である事を知る事に…。



2018年/88分/カラー/デジタル/フランス語  
監督:出演:ジュスティ・テイビ  
出演:マリク・ジテ、クレア・ドゥマス、メラニー・バステル、ミュー・ヘリエ  
2/14金17:10-  
2/17土15:00-  
2/21金10:30-

**マイ・レボリューション**  
Tout ce qu'il me reste de la révolution  
共産主義の両親に育てられた30代のアンジェルトって、現代社会は憤りを感じるばかり…。活動家だった父は歳をとって、母は政治思想を捨て田舎へ移住。全てに行き詰ったアンジェルは、久々に母に会いに行くことにする。

あらたなる風景、若者の現在



**僕らプロヴァンシアル**  
Mes provinciales  
2018年/137分/カラー/デジタル/フランス語  
監督:ジャン・ポール・シヴェラック  
出演:オンドラニク・マネ、ゴンザグ・ヴァン・ベルヴェレセ  
エティエンヌは大学で映画を学ぶため、パリに上京する。そこで映画への情熱を同じくするマティアスとジャン＝ノエルと出会う。しかし、時がたつにつれ、彼らの抱いていた幻想が徐々に変質していき…。

2/24金12:10- | 2/26土12:10-  
2/27日10:30-



**ワイルド・ボーイズ**  
Les Garçons sauvages  
2018年/110分/モノクロ&カラー/デジタル/フランス語  
監督:ベルトラン・マンディョ  
出演:ヴィマル・ボンス、ボリーヌ・ロリタル、ティアンヌ・ルクセル  
舞台は20世紀初頭。良家出身の5人の少年がある日解放的な気分が差して、卑劣な罪を犯してしまう。罪を償うため謎の船長に預けられた少年たちは、過酷な航海の旅へと連行され無人島に座礁するが…。

2/16日17:30- | 2/19金15:00-  
2/22土13:00- 予定(※調整中の為、変更の可能性有)



**ソフィア・アンティポリス**  
Sophia Antipolis  
2018年/98分/カラー/デジタル/フランス語  
監督:ヴィルジール・ヴェルニエ  
出演:ドレイ・キュネツ、ユーク・ジバムクナ、サンドラ・ボフトウ  
地中海と森と山の間にある不思議な場所、ソフィア・アンティポリス。眩いばかりの陽光の下、男も女も生きる意味を、人と人のつながりを、自分達が属する共同体を探している。そしていつのまにか彼らは失踪した一人の若い女性の運命と交錯していく。

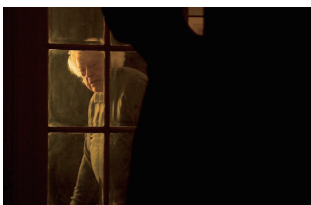
2/19金17:15- | 2/22土11:00-



**宝島** L'île au trésor  
2018年/97分/カラー/デジタル 監督:キヨム・ブラック  
バリ北西にあるレジャー・アイランドでのひと夏。ある者達にとっては冒険、誘惑、ちょっとした危険を冒す場所。他の者達にとっては避難、逃避の場所となっている。世界の喧騒とどこかで響き合いながら、この場所には有料の海水浴場もあれば、人目につかない片隅、あるいは子供達を探求する王国もある。

2/16日15:00- | 2/17土16:55-  
2/20日15:00-  
★2/16日上映後、北小路隆志氏(映画批評)トーク有!

批評家のドキュメンタリー



**ジャン・ドゥーシェ、ある映画批評家の肖像**  
Jean Douchet, l'enfant agité  
2017年/85分/カラー/デジタル/フランス語  
監督:フアビアン・アージュ、キヨム・ナミール、ヴァンサン・アセール  
ジャン・ドゥーシェは50年以上前から映画批評家として世界中を旅してきた、映画についての伝道師「渡り守(パスアル)」である。その類まれなる知性、教養、ユーモアによって、映画作家や映画ファンたちに影響を与えてきた。ある晩、三人の仲間たちがドゥーシェと出会う…。  
ジャンは映画の意味を目覚めさせる術を知っている。映画の送ってくる手紙を読み解くように、そして美への思い、配慮する気持がジャンをここシネマテークや、他の多くの映画館へと足を運ばせたのです。  
——アルノー・デブレジャン

2/23日11:00- | 2/25日12:10-  
2/27日13:15-

見出された映画作家ギイ・ジル



**海辺の恋**  
L'Amour à la mer  
1963年/73分/カラー&モノクロ/デジタル/フランス語  
出演:ジュヌヴィエーヴ・テニエ、ダニエル・ムスマン、ギイ・ジル、シモーヌ・バリ、ジャン＝ピエール・レオ、ジャン＝クロード・ブリアリ  
ジュヌヴィエーヴは恋人である水兵のダニエルと海辺の街ドーヴィルで落ち合い、愛し合う。ヴァカンスが終わり、ダニエルは駐屯地に、ジュヌヴィエーヴはパリに戻り、再会することを待ち望みながら、それぞれの生活を送る。ダニエルと同様にアルジェリア戦争からフランスに戻ってきた水兵、ギイの感情が2人のそれと混ざり合っていく。ギイ・ジル自身が同名の「ギイ」役で出演しており、彼の人生が語られる部分が主人公2人の人生と響きあい、作品にポリフォニックな深みを与えている。

2/15日15:00- | 2/18日18:50-  
2/24日10:30-



**オー・パン・クベ**  
Au pan coupé  
1967年/71分/カラー&モノクロ/デジタル/フランス語  
出演:パトリック・ジュアネ、マーシャ・メリル、ベルナルド・ヴェルレ  
ジャンヌはかつての恋人ジャンを思い出し、今も彼との恋を生きている。ジャンは15歳で少年院に入り、既成秩序に反抗し、ブルジョワ的な世界もビート族たちの世界も拒否して死んでいった。彼の死を知らないジャンヌには、つねにジャンが亡霊のように寄り添っている。

2/15日16:40- | 2/18日17:10-  
2/25日10:30-



**地上の輝き**  
Le Clair de terre  
1969年/102分/カラー&モノクロ/デジタル/フランス語  
出演:パトリック・ジュアネ、エドウィージュ・フィエール、アニー・ジャラル、ミッシュリス・ブレール  
チュニジア生まれで、母の死まで幼年期をその地で過ごしたビエールは現在、パリのマレ地区、ロジエール通りに父親と住んでいる。突如、パリを離れる必要を感じたビエールはチュニジアの首都チュニスに向かう。そこでかつての教師に導かれ、自分の過去の形跡を追っていくことになる。

2/15日18:20- | 2/18日15:00-  
2/26日10:30-